

## 学術ポータル担当者研修レポート

### 【受講者】

9-1 梶本 佳絵

北陸先端科学技術大学院大学 学術協力課 学術情報サービス室学術サービス係

9-2 寺田 美樹

北陸先端科学技術大学院大学 学術協力課 学術情報サービス室学術管理係

### (1) 発表資料の状況設定

#### 【状況】

昨年度、機関リポジトリの構築時に、図書館長や図書館専門部会の先生から、各研究科の教授会の場でリポジトリの概要説明、論文の提供依頼を行ってもらっている。また、図書館からも今までにメールや口頭で各教員にリポジトリの紹介を行ってきた。

2007年5月30日にリポジトリの外部公開後、業績データベースの情報を利用して論文登録が可能になった事を前提に説明を行う。

#### 【目的】

JAIST学術研究成果リポジトリの概要、メリットを知ってもらう。

また、業績データベースの情報を利用して論文を簡単に登録できることを説明し、論文登録の協力を依頼する。

#### 【対象者】

研究科会議に出席する教授・准教授

(リポジトリについて簡単な概要は聞いたことはあるが、詳しい説明は受けたことがない。)

#### 【場所・時間】

研究科会議が開催される会議室で10分間程度

### (2) 発表内容抄録と研修当日の講師からの助言、及び研修発表との改訂部分

#### 【発表内容抄録】

タイトル：「JAIST学術研究成果リポジトリ ご紹介と論文ご提供のお願い」

#### 1) JAIST学術研究成果リポジトリの概要と現状

JAIST学術研究成果リポジトリは本学で生産された研究成果の全文を電子的に蓄積・公開するシステムである。学術リポジトリは現在各国の学術機関で急速に構築が進んでおり、本学でも2007年5月30日から公開運用を始め、11月現在で約3,500件の登録がある。

#### 2) 研究成果登録によるメリット

教員が自身の研究成果をJAISTリポジトリへ登録した場合、その研究成果には以下の5点のようなメリットが生じると考えられる。①無料で全世界へ公開できるので、学術雑誌など有料の媒

体に掲載するよりも多くの研究者の目に触れさせることができる。②多くの研究者に閲覧されることにより、被引用回数の増加が見込まれる。③URL が固定されるため、リンク切れが発生しない。④被ダウンロード回数が通知される。⑤データは大学のサーバに蓄積されるので、安全に長期保存することができる。

### 3) 登録対象と著作権

リポジトリに登録できる資料は、学術雑誌掲載論文以外にも科研報告書、リサーチレポート等がある。著作権に関しては、海外の出版社の 71%が掲載論文のリポジトリへの登録を条件付で認めている。一方、著者に著作権がある場合、共著者の許諾があれば登録が可能である。出版社に著作権がある場合、利用許諾の確認は図書館が行う。

### 4) 登録方法と論文提供依頼

論文の登録方法には、メールで提出、業績一覧から教員自身が登録する方法がある。業績一覧からの登録方法については、ログイン、登録論文の選択、本文のアップロード、登録申請を各スライドで紹介。最後に、問い合わせ先、リポジトリの URL を提示し、論文搭載への協力を依頼する。

### 【研究当日の講師からの助言(質問)】

- ・ 著作権の説明は、実際の Copyright Transfer の紙を画面上で見せた方が、インパクトがあってよい。
- ・ 引用率の図がわかりやすかった。とてもよかったです。
- ・ 学位論文は学内のみ限定で公開されている論文が多いように思うが、それはなぜか？

### 【研修発表との改訂部分】

- ・ 発表時の 11 月 16 日現在に合わせて、世界・日本のリポジトリ数、JAIST 学術研究成果リポジトリの登録アイテム数を修正した。
- ・ 著作権の説明の際、著作権譲渡契約書を画面上で見せて紹介するようにした。

### (3) リハプレゼンの概要

【日時】 2007 年 11 月 16 日(金) 13:15-13:30

【場所】 附属図書館 学術情報サービス室

【発表者】 梶本 佳絵(説明), 寺田 美樹(スライド操作)

【発表対象, 参加人数】 図書館職員(発表者含め 9 名)

### (4) リハプレゼンへの反響

リハプレゼン後アンケートを実施し、8 名から回答を得た。結果は以下の通りである。

## 【アンケート集計結果】

### 1. プレゼンテーションの仕方

#### a) プレゼンテーションの長さ

短い	0
ちょうどよい	8
長い	0

#### b) スライドの分かりやすさ

とても分かりやすい	8
まあまあ分かりやすい	0
少し分かりにくい	0
とても分かりにくい	0

#### c) 口頭説明の分かりやすさ

とても分かりやすい	7
まあまあ分かりやすい	1
少し分かりにくい	0
とても分かりにくい	0

### 2. プレゼンテーションの内容

#### a) リポジトリの概要は理解できたか？

よくわかった	6
ある程度わかった	2
あまり分からなかった	0
全く分からなかった	0

#### b) リポジトリに自身の論文を登録するメリットがあると思うか？

大いにメリットがある	3
ある程度はメリットがある	5
あまりメリットがない	0
全くメリットがない	0

#### c) 研究者総覧のデータを利用した自身でのリポジトリへの論文登録方法は分かったか？

よくわかった	3
ある程度わかった	5
あまり分からなかった	0
全くわからなかった	0

#### d) プレゼンテーションで解決されなかった疑問, リポジトリの登録に関して不明・不安な点

- ・ 出版社や雑誌名からの著作権情報のお知らせコーナーが必要のように思う。
- ・ 著者自身がリポジトリへの登録をするのに、出版社に許諾を取らなくてはいけない場合はどんなときか。全て図書館側でやってもらえるのか。
- ・ 業績データベースを使って自分で登録する際、著作権処理はいつどのような形でされるのか、教えていただきたいです。
- ・ 著作権の許諾がクリアされているかどうか(出版社・学会について)は、どの段階でチェックされ、連絡いただけますか？

#### 3. その他感想・意見

- ・ とても分かりやすかった。
- ・ リポジトリへの興味を持ってもらう意味で、長さもちょうどよく、必要と思われることの説明があったのでよかった。
- ・ 職員による代理登録を今後もお願いしたい。説明会の回数を多くしてほしい。
- ・ 文字が大きく、画面もすっきりとして見やすいスライドでした。最初に、プレゼンテーションの流れ、構成を簡単に説明してもいいと思います。

#### (5) その他(今後の予定と希望)

研修では、プレゼンの時間が10分と短かったため著作権についての説明は極力短くまとめたが、著作権についての質問が一番多かったため、スライドを増やすまたは、著作権についての配布資料を用意するなどして本番に臨みたいと思う。